

科目名	学年	期別・授業形態・単位数	教員名 四蔵茂雄 研究室 B棟3階 (B-316) 内線電話 8986 e-mail: shikura@maizuru-ct.ac.jp
地球環境政策学 Policy of global environment	2	必修 前期・講義・2単位	
		授業 (30時間) + 自己学習 (60時間) = 標準 90時間の学習時間	
		科目到達レベル: <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/> 2. 理解 <input type="checkbox"/> 3. 適用 <input type="checkbox"/> 4. 分析 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造	
この科目は、地方自治体で下水処理場の設計と維持管理を担当していた教員が、その経験をいかして、汚染物質の管理手法について講義形式で授業を行うものである。			
【授業目的】 この授業では、今日地球規模で生じている環境問題について講義する。また、これらの環境問題に対してとられる対策について述べる。特に、温暖化防止対策として試みられている排出権取引や CDM 等の経済的手法に重点をおいて解説する。また、その背景となる経済理論に対する理解を深めてもらう。さらに LCA や環境経済評価についても触れる。演習課題では、青葉山のオオキンレイカや尾瀬沼湿原、屋久杉等の貴重な自然や生態系の経済価値を計測する。			
【Course Objectives】 Objectives of this course are to understand a mechanism and present state of the global environmental issues, and to understand policy measures for them, especially one for global warming.			
【到達目標】 1. 地球レベルの環境問題について、発生メカニズムと現状を理解し説明できる。 2. 環境問題の発生を経済学的観点から説明できる。 3. 環境政策の枠組みを理解し説明できる。 4. 温暖化防止政策を理解し説明できる。			
【学習・教育到達目標】 (F) 技術が持つ地球的、社会的影響の重要性と技術者の倫理的責任を理解し、説明することができる。			
【キーワード】 人口問題、温暖化、社会的余剰、環境政策、ライフサイクルアセスメント、環境経済評価 Population problem, global warming, social benefit, policy measures, LCA, economic evaluation of environment,		【授業時間】 2時間(90分)×15週=30時間(22.5時間)	
【授業方法】 講義を中心に進める。講義は基本的に板書で行う。適宜スライドも併用する。学習内容の理解を深めるため、演習問題/課題をやってもらう。		【学習方法】 1) 予習と復習を行う事。 2) 授業中は講義ノートをきちんととり理解すること。 3) わからない事は質問すること。 4) 課題のレポートは期限内に提出すること。 自己学習課題1「地球温暖化」 自己学習課題2「世界の人口問題」 自己学習課題3「生物多様性の問題」	
【履修上の注意】 予習と復習を行う事。		【科目の位置付け】 1. 先行して履修すべき科目 なし 2. 後で履修する関連科目 なし 3. 同時に履修する関連科目 なし	
【定期試験の実施方法】 定期試験を実施する。試験時間は50分とする。			
【成績の評価方法・評価基準】 定期試験の成績70%、レポート課題の成果30%で総合評価する。なお、全ての課題のレポートが提出されない場合、総合評価は59点以下とする。			

【教科書・教材等】			
教科書： なし プリントを配布する。			
教材： なし			
【参考書・参照 URL 等】			
参考書：地球環境問題と環境政策に関する図書は数多くある。また、最新のデータはインターネットで入手できる。			
【授業計画】			
週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
第1週	シラバス内容の説明,		
第2週	地球環境問題(1) 環境問題の連関, 人口問題と経済発展	2	
第3週	〃 (2) 途上国の環境問題	2, 3	
第4週	〃 (3) 現状把握と評価	2, 3	
第5週	〃 (4) 温暖化とそのメカニズム	2, 3	
第6週	環境政策概論 環境管理手法の種類と特徴	2, 3	
第7週	経済的手法(1) 価値と効用, 社会的余剰,	2, 3	
第8週	〃 (2) 外部不経済	1	
第9週	〃 (3) 環境税, コースの定理,	1	
第10週	〃 (4) デポジット制度	2, 3	
第11週	〃 (5) 排出権取引と京都議定書,	1	
第12週	その他の手法(1) ライフサイクルアセスメント (LCA)	2, 3	
第13週	〃 (2) 国際的取り組み	2, 3	
第14週	〃 (3) 環境の経済評価	1	
第15週	経済評価演習	1, 2, 3, 4	
★定期試験			
定期試験返却・到達度確認			
【自己学習】			
週			
第1週	}	〔演習課題1〕 第1週～5週における演習課題1 「地球温暖化」	
第2週			
第3週			
第4週			
第5週			
第6週	}	〔演習課題2〕 第6週～10週における演習課題2 「世界の人口問題」	
第7週			
第8週			
第9週			
第10週	}	〔演習課題3〕 第11週～15週における演習課題3 「生物多様性の問題」	
第11週			
第12週			
第13週			
第14週			
第15週			
【学生へのメッセージ】			
今, 地球で何が起きているか?そしてそのためにどんな対策が採られようとしているか?地球環境保全の政策対応は, 今最もホットで革新的な試みが進展しつつある分野である。あっと驚くような仕組みが進展しつつあることを, 君たちは知りたいと思わないか?			